

せんなん教育ニュース



令和5年（2023）年7月泉南市教育委員会

1. 泉南市立小中学校再編計画の策定

泉南市が目指す小中一貫教育の実現に向けて、泉南市立小中学校の再編に関し、進め方や見直しについてまとめた泉南市立小中学校再編計画（以下「再編計画」といいます。）を令和5（2023）年3月に策定しました。

大切な子どもたちに、将来にわたる充実した教育環境を提供するため、皆様のご協力を得て、着実に再編計画を進めていきます。

2. 再編計画の概要

- ◆再編計画は、全体期間を40年とし、おおむね10年間を1区切りとした4つの期間から構成されます。
- ◆現在の4中学校区を残し、義務教育学校を1校、小中一体校を3か所（3中3小）新築することを基本とします。あわせて新たな特認校を検討します。
- ◆東小学校は、学校規模や校区の環境を特性とした特認校制度を導入していますが、各期において在り方を検討します。
- ◆再編計画を具体的に進めるにあたっては、学校施設の老朽化の進行を踏まえ、可能な限り再編計画の進捗について柔軟に対応することとします。
- ◆再編計画中の小中学校の名称は仮称であり、今後新たな学校の名称を協議していきます。

3. I期からIV期の概要

【I期】令和5（2023）年から令和10（2028）年

- ◆西信達エリアにおいて西信達小学校と西信達中学校を統合し、西信達中学校敷地等に西信達義務教育学校を新築します。

【II期】令和11（2029）年から令和20（2038）年

- ◆新家エリアにおいて一丘小学校校舎を大規模改修し、3つの小学校（新家小学校、新家東小学校、一丘小学校）を新家小学校として統合します。
- ◆泉南中エリアにおいて泉南中学校敷地等に新たな小学校を新築し、3つの小学校（樽井小学校、鳴滝小学校、雄信小学校）を統合します。
- ◆信達小学校校舎を大規模改修します。

【III期】令和21（2039）年から令和30（2048）年

- ◆新家エリアにおいて、新家小学校（現・一丘小学校）敷地に小中一体校を新築し、一丘中学校、砂川小学校を統合します。

【IV期】令和31（2049）年から令和40（2058）年

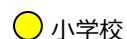
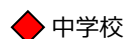
- ◆信達エリアにおいて、信達小学校（又は信達中学校）敷地等に小中一体校を新築し、信達小学校と信達中学校を統合します。

※信達エリアの小中一体校について試算した結果、IV期に現信達中学校敷地に小中一体校を新築することは可能であるため、IV期における児童生徒数の推移を注視し、新築場所について改めて検討

4. IV期完了時における学校配置図



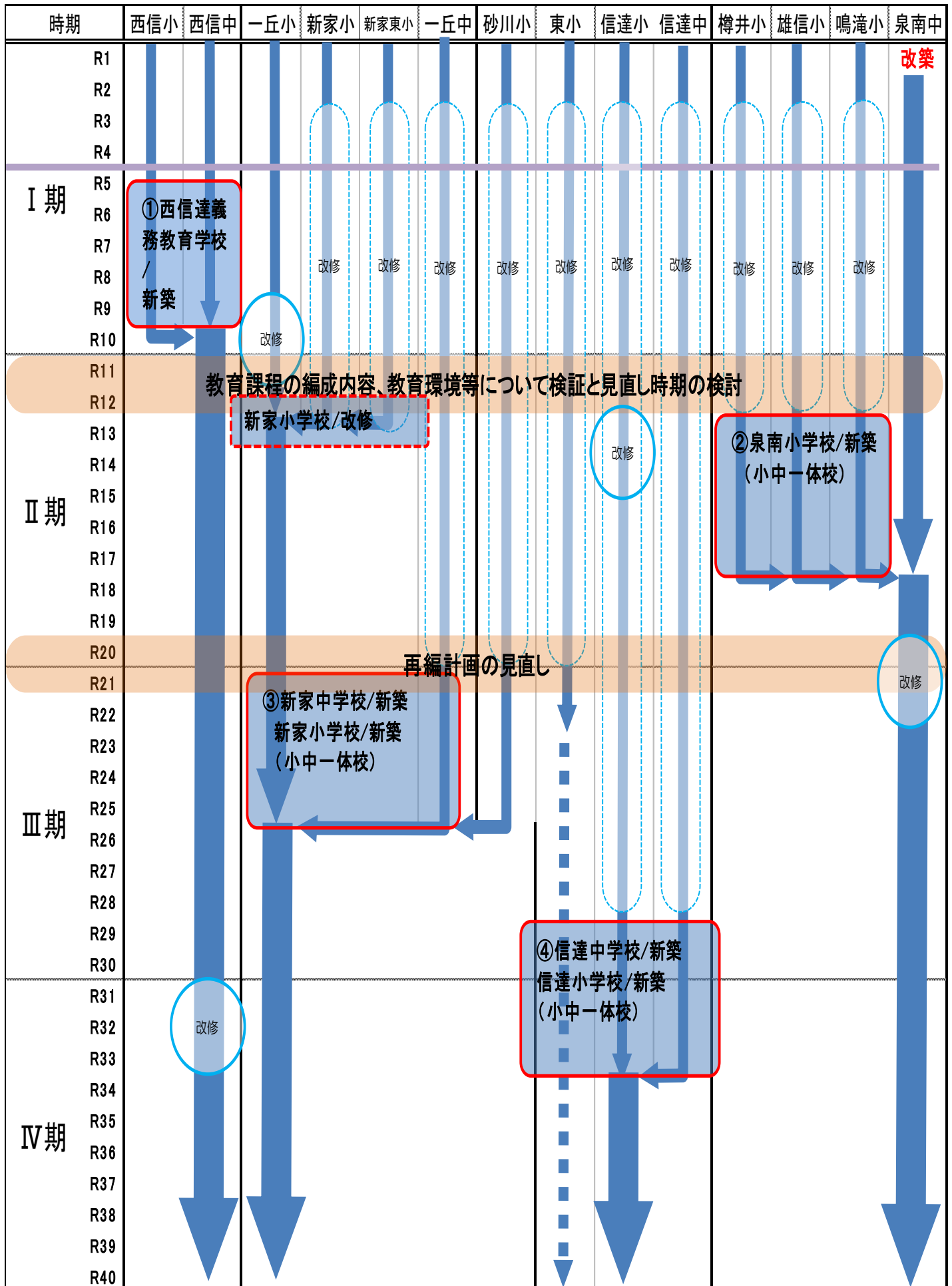
【凡例】



信達小中IV期の別案

バス通学検討範囲

泉南市立小中学校再編計画の流れ



5. 再編計画の留意事項

- ◆ 1つの学校施設（小中一体校を含む）の新築にはおおむね5年かかると見込んでおり、時期に記載している年度は目安で前後することがあります。
- ◆ 新築を行うまで、現状の学校施設を相当期間継続して使用する学校については、適宜改修等を行います。
再編計画の流れで、実線のだ円は大規模改修、は線のだ円は維持管理保全のための修繕を表しています。
- ◆ 就学予定校が学校再編等の影響を受けず変更されない（既存校の建替え等）場合、市民への周知・準備期間はその工事等に必要の最短期間を想定します。
一方、就学予定校が現状から変更となる場合は、周知のために計画決定からおおむね5～6年を準備・猶予期間として見込むこととします。
- ◆ 比較的小規模な学校の場合「義務教育学校」とするメリットが大きくなるため、1小学校1中学校からなる西信達小中学校は、義務教育学校としています。



6. 再編計画の見直し

- ◆ 再編計画は、今後40年間という長期にわたる計画であるため、将来の社会情勢やこれから泉南市が直面する状況によって見直しが必要となる場合が想定されます。
 - ◆ 泉南市教育問題審議会からは、再編計画の見直しに関する事項についても答申を得ているため、それを踏まえて次のとおり再編計画を推進する過程で適切に見直しを図ります。
- ① 西信達義務教育学校開校後、1年から2年を目途に教育課程の編成内容、教育環境等について検証するとともに、再編計画の見直し時期を検討します。
 - ② 再編計画全体の中間段階となる再編計画の実施から15年後に再編計画の見直し時期を設定し、児童生徒数の推移に注視しつつ、校区再編も含めて検証・見直しを進めます。
また、学校施設の老朽化の進行を踏まえた再編計画の進捗にも対応し、見直し時期を設定します。
 - ③ 再編計画の見直しにあたっては、泉南市教育問題審議会等で改めて調査審議いただいた上で、見直すこととします。

7. 再編計画の進め方

再編計画を着実に進めるためには、令和4年泉南市教育問題審議会答申で示された8つの課題の解決に取り組むとともに、子どもたちの確かな学びを保障し豊かな心を育成するため、次に掲げるように多岐にわたる取組も並行して進める必要があります。

(1)「新しい学校の創造」の確実な推進

- ① 学校へ付加する機能、施設の複合化及び民間活力導入などを検討します。
- ② 当該校に関わる地域住民などとのワークショップを開催し、「新校」のイメージづくりと意識の共有に取組みます。

(2)小中一貫教育カリキュラムの編成

- ① これまで小中学校が連携し進めてきた、キャリア教育、外国語教育（国際理解教育）及びICT教育を軸とした取組を更に強化します。
- ② 新たな学校づくりやカリキュラム編成に向けて、先進校への視察や教職員研修を実施するなど、具体的な教育環境の検討に努めます。
- ③ 小中学校の取組にあわせ、これまで本市が大切にしてきた就学前施設との連携である非認知能力の育成等の目指す子ども像を共有した上で取組を進めます。

(3)子どもの通学時の安全・安心を確保

- ① 通学路における交通量が多い幹線道路や踏切への不安に対し、地域連携による見守り活動、通学距離が長くなる場合の通学バス等の導入検討を進めます。
- ② 通学路及び学校周辺の道路等の交通環境の改善に向けて最大限の対応を進めます。

(4)調整区の解消

- ① それぞれの調整区の設定経緯を踏まえ、新しい学校建設に向け地域間交流を積極的に推進します。
- ② 子どもたちが安全かつ安心して学校に通えるよう、地理的環境かつ交通環境等を考慮に入れた学校区設定と指定校制度の柔軟な運用に努めます。

8. 令和4年泉南市教育問題審議会答申8つの課題

- ① 再編計画の進捗管理に係る仕組みについて
- ② 学校施設の老朽化対策について
- ③ 通学時の安全確保について
- ④ 再編時期にあたる児童生徒等への配慮について
- ⑤（仮称）信達小中学校の新築場所について
- ⑥ 柔軟な学校区設定等について
- ⑦ 調整区の解消について
- ⑧ 学校再編後の跡地利用と地域コミュニティとの連携について

（仮称）西信達義務教育学校の新築に向けて

1. めざす義務教育学校のあり方の検討

①西信達地区住民アンケートの実施

西信達地区の住民が新しい学校に期待すること、現状の学校教育で課題と感じていること、地域と学校の連携などについてアンケート調査を行います。また、ワークショップの基礎資料とします。

アンケート調査票が届きましたら、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 対象者 西信達地区住民 1,000 世帯（無作為抽出）
- 実施方法 郵送による配布・回収（返信用封筒同封）
- 発送日 令和5年7月5日（水）
- 回答期限 令和5年7月28日（金）

②泉南市学校施設検討委員会の実施

義務教育学校のあり方や、整備すべき機能と跡地の有効活用、教育環境、今後の学校教育の方向性等、教育現場や教育関係者の視点で考えるため、泉南市学校施設検討委員会を実施します。

③先進事例の調査・研究

全国の義務教育学校の中で先進的な事例を抽出し、具体的な取組や施設の調査・研究を行います。



2. 西信達地区ワークショップ

西信達地区の区、各種団体、住民、保護者を対象として、ワークショップ（体験型講座）を実施します。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

①ワークショップの目的

新しい義務教育学校の目指す姿（コンセプト）を地域全体で考えます。

ワークショップ
参加申込 QR コード



②ワークショップの参加申込（西信達地区の方のみ）

令和5年7月5日（水）から各実施回の開催2日前までに [Google Form（右記 QR コード 読取）](#) にてお申込みいただくか、[下記の項目に記載の上、本用紙を FAX で教育総務課（072-483-7306）に送付し、お申込みください。](#) なお、定員に達し次第、受付を終了します。

申込 項目	(氏名)		(住所)	
	(年代)	歳代	(FAX)	(メールアドレス) ※任意
	(参加希望回) 第1回・第2回・第3回 ←参加を希望する回を○で囲んでください（複数回参加可）			

③ワークショップの開催日時とプログラム

- 所要時間・定員 各回2時間程度、各回30名程度
- 会場 泉南市立西信達公民館（泉南市岡田三丁目9番7号）
※自転車または徒歩でお越しくださいますようお願いいたします。

実施回	開催日時	主なプログラム（予定）
第1回	令和5年8月24日（木） 午後6時30分から	現在の学校について ・現在の学校の状況把握と改善課題
第2回	令和5年9月9日（土） 午後2時00分から	目指す義務教育学校について ・子どもたちを育てる望ましい学校のあり方
第3回	令和5年9月21日（木） 午後6時30分から	地域と学校について ・望ましい学校実現のため地域ができること ・整備することが望ましい施設機能 ・西信達小学校跡地の有効活用



発行・編集：泉南市教育委員会事務局 教育部 〒590-0592 泉南市樽井一丁目1番1号
TEL：072-483-2581（教育総務課直通） FAX：072-483-7306
e-mail：k-soumu@city.sennan.lg.jp 市ウェブサイト：https://www.city.sennan.lg.jp

泉南市教育委員会ポータルサイトは、泉南市 HP のバナーかこちらの QR コードで⇒

